

これまでの50年と2050年に向けた展望

株式会社 日立総合計画研究所 取締役会長
鈴木 教洋

日立総合計画研究所（以下、日立総研）は、1973年の創設以来、50周年を迎えることができました。日立製作所歴代幹部のご支援、日立総研の先輩方のご尽力に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。今回、50周年を記念して、「世界のこれまでの50年と2050年に向けた展望」と題した特集号を発刊いたしました。

日立グループでは、地球を守りながら、一人一人が快適で活躍できる社会を、グリーン、デジタル、イノベーションで実現するとともに、「データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現して人々の幸せを支える」ことをめざしています。日立エナジー、GlobalLogicが加わり、OT、IT、プロダクトのソリューション、デリバリー能力が大きく強化され、Lumada*ソリューションに最先端の技術・OTノウハウを組み合わせて、お客さまの課題解決に向けて One stop にてグローバルに提供しています。

一方、世界情勢を俯瞰（ふかん）してみると、米中摩擦、ロシアのウクライナ侵攻、中東情勢など、地政学リスクが高まり、世界の分断が進んでいます。日本においては、Society5.0の実現をめざして、少子高齢化の進展、経済成長の実現、地方創生などの課題への取り組みが進められています。このような外部環境の急激な変化を受けて、社会、産業、人の行動変容がデジタルで加速しています。各国にてカーボンニュートラル、循環型社会への移行が進む中、サプライチェーン全体で炭素排出量を見える化、透明化する動きが進展しています。また、産業構造に関しては、パンデミックや地政学リスクによるバリューチェーン再構築が進むとともに、トークンエコノミーが形成され電子取引に活用されてきています。われわれの生活においても、eコマースによる消費拡大とともに、メタバースによる仮想空間での経済活動が進展してきています。また、生成AIの登場により、ホワイトカラーの生産性の革新的な向上が期待されています。業務の一部を自動化し、労働者の能力を向上させることにより、2.6兆～4.4兆ドルの経済価値をもたらす可能性があると予測されています（マッキンゼーによる推計）。

振り返ってみますと、ニクソンショックに伴う混乱を背景にした世界経済秩序の再構築の始まり、「ローマクラブ」の資源有限論の登場、第1次オイルショックによる将来展望の不確実性の高まりを踏まえ、経済、社会、経営、技術などの各分野を総合したソフト・サイエンスの確立を図り、日立グループ内の長期的かつ基本的な問題への対策はもとより、

広く国家、諸官庁、他企業の要望にも応えることを目的に、1973年に日立グループのシンクタンクとして「株式会社日立総合計画研究所」が設立されました。世界が直面する地球の基本課題について、まず事実から認識・確認して、課題の本質を見極め、そして課題の根本的解決策を研究し、求める、いわゆる「求真実」を大切に受け継いできています。厳しい現実に直面しても怯（ひる）まず、困難に直面してもくじけず、解決に向かって弛（たゆ）まず努力することが新しい時代を開くことになり、新しいビジネスの創出につながると考えています。今まさに、設立当初と同様、大きな歴史の転換点にある中で、重要な役割を果たすべき時が来たかと捉えています。

グローバルリーダーをめざす日立にとって、急速に変化する市場環境下において事業成長を実現するためには、日立グループのビジネスインテリジェンス強化が重要となっています。各地域での地域戦略をもとに日立グループの人財が国や事業部門を越えて One Hitachi でフロント活動・新事業創生をめざす中で、事業機会とリスクの分析、社会課題解決に向けたルール形成・ロビイングを日立グループが一体となって進める必要があります。その中において、日立総研では、グローバル社会のマクロトレンドを的確に把握し、先行研究を通じて経済・社会・経営・技術・お客さまの最新動向を分析することで、日立グループの事業成長に向けた戦略提案・実行支援を通じ、日立のグローバル事業成長に貢献していきます。

2050年に向けて、デジタル社会へと大きく時代が変わろうとしている今、産業構造の変化をしっかりと捉えてリスク分析・洞察を行い、格差の是正など社会の本質的な課題に向き合っていくとともに、日立グループの事業ポートフォリオ変革の方向づけに資する提言にも挑戦していきたいと思います。日立製作所でのCTO兼研究開発グループ長を7年間務めた経験をフルに生かして、まさに、過去の困難を乗り越えてきた先輩方の「決心と覚悟」を持って、デジタル変革の本質に取り組んでいきたいと思います。

今回の「世界のこれまでの50年と2050年に向けた展望」では、日立総研が見てきたこの50年間の世界の動きを振り返るとともに、各分野の有識者の方々に2050年に向けた展望を語っていただきました。本特集号が少しでも皆さまのお役に立つことを祈念しております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

<注釈>

* Lumada：お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称